



六小だより

— 花と緑の学校 —

六小・ホームページ <http://6s.hyama.andteacher.jp>

令和8年5月29日

第3号

東大和市立第六小学校

校長 飯塚 庫健

TEL 042 (562) 1158

アイコンタクト

校長 飯塚 庫健

新学期が始まって早いもので、2か月が経ちます。スポーツテストも大きな怪我や事故もなく、安全に終わることができました。全力を出し切っている子供たちの姿から、私自身もたくさん元気をもらうことができ、嬉しく思います。

さて、この季節は陽気もよく、子供たちの行動範囲も広がってきます。6月は、交通安全教室も行われますが、それに先駆けてあらためて子供を交通事故から守るため、警視庁の交通部より出されている交通安全情報について述べたいと思います。

~~~~~青だけど・・・車は私を見ているかな・・・？~~~~~

信号に従っていても、横断歩道を渡っていても、必ずしも安全ではありません。右折や左折をする車、信号の変わり目で無理矢理交差点に進入してくる車、横断中の歩行者に気付いていない車などがあるかもしれません。必ず、右左（みぎひだり）の安全確認をして、車が止まっているか、運転手さんが、自分に気付いているか確かめてから渡りましょう。（警視庁ホームページより抜粋）

### 7つの子供自身の身を守る安全行動

- 1 信号が青のときでも、右左の安全を確かめてから横断する。
- 2 信号がない横断歩道は、必ず横断前に安全を確かめ、車が来ていたら、車の動きをよく見て、止まってくれたのを確認してから横断する。

※ 車が止まってくれたときには、運転手さんとアイコンタクトして渡りましょう！

- 3 止まってくれた車の陰から、他の車が来るかもしれないので注意する。
- 4 横断中も右折、左折してくる車がないかを、注意しながら横断する。
- 5 トラックなどの大きい車の右折、左折の時には、車の動きに注意する。
- 6 車道への飛び出し、駐車している車の前や後ろからの横断は、絶対しない。
- 7 道路を横断するときは、横断禁止場所や斜め横断はせず、遠回りでも必ず横断歩道や歩道橋を渡る。

これら7点の安全行動は、大人にとっては、どれもこれも当たり前の行動に思えますが、子供たちにとっては、なかなか習慣になっていないのも事実です。

6月の全校朝会では、「あいさつ名人」の表彰と合わせて、「アイコンタクト」のお話をしようと思っています。学校生活だけでなく、放課後など学校以外様々な場面で「アイコンタクト」はありますが、特に信号機のない横断歩道を渡るときには、運転手さんと「アイコンタクト」を使って、安全に気を付けてほしいと願っています。

これからも、折に触れ繰り返し子供たちにも話していきますが、ご家庭でもお子さんに、「7つの子供自身の身を守る安全行動」についてのお話をしていただければと思います。

どうぞよろしくお願いたします。